

| 番 号 |
|-----|
| |

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は
著作権の関係で掲載できません

問1 A C あてはまる最も適当なことをそれぞれ次の中から選び、記号で一つ答えなさい。

ア しかし イ つまり ウ そして エ また オ 例えば

 A B C

問2 「ソウも同じです」とありますが、どいつ点について同じなのか答えなさい。

人間とソウが どいつ点について同じ。

問3 「これ」の指す内容を本文からぬき出して答えなさい。

問4 「近づくまでソウが来て動いているのに気づかなかったのですが、なぜ気づかなかったのですか。

次の「」にあてはまることを本文のことばを使って答えなさい。

ソウの

声。

か。

| |
|-----|
| 番 号 |
| |

問5 —— 「この形態」とありますが、ゾウの足の形態を本文からぬき出して答えなさい。

足の形態 []

また、本文には足つらの形についても説明されていますが、足つらの形を本文からぬき出して答えなさい。

足つらの形 []

問6 —— 「これ」の指す内容を本文のことばを使って、二十字以内で答えなさい。

| |
|-------|
| |
|-------|

問7 —— 「その能力」とありますが、暑さ寒さをしのぐためにゾウにはどのような能力がそなわっていますか。それぞれ十五字以内で説明しなさい。

暑い時... []

寒い時... []

能力。 []

能力。 []

問8 本文の内容に合うものを次の中から選び、記号で二つ答えなさい。

- ア 足跡から足の大きさや進む方向がわかり、土の条件によっては足つらのしわもあざやかに残る。
 - イ 歩はばを広げることですピードを出し、駆足になると時速四〇キロメートルになることもある。
 - ウ ジャンプはできないが、足をまわす動きはできるので、草をかりとるのに蹴ってひづめで切る。
 - エ 皮ふのたるみは、棘や牙からの打げきや、紫外線、こん虫などからの害を防ぐのに役立つ。
 - オ 耳はききつきやすく、年とともにぼろぼろになり、厚さは一〜二ミリメートルほどになる。
-

問9 次の問いに答えなさい。

問1 次の〜 はそれぞれ漢字のまちがいを一字さがし、正しい漢字を右の□ にていねいに書きなさい。

- 歯の衛星に気をつける
- 友達と検恵になる
- 国民の支示を集める
- 復雑な構造
- 本を变集する

問2 次の〜 はひらがなを漢字に直し、ていねいに書きなさい。

| | | | |
|----|---|----|----|
| はん | ぎ | はん | ぎ |
| はん | ぎ | はん | ぎ |
| 半信 | | たん | とう |
| | | | |
| | | りん | き |
| 同音 | | りん | き |
| | | | |
| | | せい | い |
| 直入 | | せい | い |
| | | 誠心 | |

問3 次の〜 は——の漢字をひらがなに直しなさい。

- 再来年の春 ()
- 車の往来がはげしい ()
- 恩に報いる ()
- 雑木林を散歩する ()
- 生命の源 ()

三 次の詩と鑑賞文を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は
著作権の関係で掲載できません

問1 4行目に「優しいからだ」とありますが、鮎のからだを「優しい」と表現した扉星にとって、鮎とはどういう存在だったと考えられますか。鑑賞文も参考にして、適当なものを次の中から選び、記号で一つ答えなさい。

- ア 遊び相手となって楽しませてくれ、おだやかな気持ちにさせてくれる存在。
- イ いつも川の中を自由に泳ぎまわっており、力強い気持ちにさせてくれる存在。
- ウ 優しい顔をした鮎に愛着をもち、ずっとこの川にいてほしいと願う存在。
- エ 鮎のからだが岩などで傷つくことをおそれ、守ってあげたいと思う存在。

問2 12行目に「花のように驚いては散って」とありますが、「花のように」とは、鮎のどのような様子を例えていますか。二十字以内で答えなさい。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

問3 14行目の「群をぬいた」のことはの意味として最も適当なものを、次の中から選び、記号で一つ答えなさい。

- ア 群をおいこした
- イ 群の中で最もすぐれた
- ウ 群からはずれた
- エ 群の中でとても速い

問4 14行目の「すらりと群をぬいた大きな鮎」の泳ぎ方をあらわしているのは何行目から何行目までですか。詩中から探し、数字で答えなさい。

行目から

行目まで

| 番 | 号 |
|---|---|
| | |

問5 20行目の「あとは土手の若葉の匂いがするばかり」とありますが、ここからわかる情景として適当なものを次の中から選び、記号で一つ答えなさい。

- ア 鮎あゆが泳いでいる川の水面に、花びらがひらひらと散っている情景。
- イ 若葉のさわやかな匂いと、鮎の匂いが一面に広がっている情景。
- ウ かすかな物音以外は、若葉の匂いがあるだけだしんとしている情景。
- エ 鮎の群むれが姿を消してしまい、夕日に若葉がかがやいている情景。

問6 鑑賞文の「清流」であることは、何連からわかりますか。

[連]

問7 鑑賞文の に入る季節を次の中から選び、最も適当なものを記号で一つ答えなさい。

- ア 早春
- イ 初夏
- ウ 初秋
- エ 初冬

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は
著作権の関係で掲載できません

問1 次の~~~~あいの語句の意味として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- あ「おつかない」
- ア つらい
- イ つまらない
- ウ さみしい
- エ こわい
- い「心にしみいる」
- ア 心の底まで感動する
- イ 心につらさを感じる
- エ 心が晴れ晴れする
- ウ 心から悲しむ

| い | あ |
|---|---|
| | |

問2 にあてはまる、最も適当なものを次の中から選び、記号で一つ答えなさい。

- ア たぶん
- イ そして
- ウ その時
- エ ところが
- オ また

| |
|-----|
| 番 号 |
|-----|

問3 本文から次の一文がぬけています。次の一文が入る部分をA～Eから探し、アルファベットで答えなさい。

【人もみな、「この鈴のよつなものを、心の中にさずかっているのではないだろうか。】

| |
|--|
| |
|--|

問4 ー 何に「初めて気がついた」のですか。初めて気づいた内容を本文からぬき出して、最初と最後の五文字を答えなさい。
い。

| |
|--|
| |
|--|

)

| |
|--|
| |
|--|

問5 ー 「道のでこぼこを通る時に、一つの楽しみが出てきた」とありますが、何が楽しみになったのか、本文中のことはを使って二十五字以内で答えなさい。

| |
|--|
| |
|--|

問6 ー 「そこ」のさしている内容を本文からぬき出して答えなさい。
[]

問7 ー 「なるべくさけて通ってきた」とありますが、筆者が車いすに乗るようになって、なるべくさけて通るようになった理由を本文から探し、二つ答えなさい。

| |
|--|
| |
|--|

問8 ー 「小さな鈴」として、適当ではないものを次の中から選び、記号で一つ答えなさい。
ア 病気の時に親友から言われた心あたたまる言葉。
イ 苦しい時に、いつも元気つけてくれる歌詞。
ウ くじけそうな時に、勇気づけてくれる思い出。
エ お年玉をもらった時に買ったゲーム機。

| |
|--|
| |
|--|

問9 あなた自身が、道のでこぼこ(こまったこと・つらかったことなど)を乗り越えた経験について、そのきっかけもふくめ、原稿用紙を正しく使い、二 字以内で書きなさい。

| |
|--|
| |
|--|

| |
|-----|
| 番 号 |
|-----|